

17歳の風景 少年は何を見たのか (2005)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 90分

初公開日 2005/07/30

公開情報 シマフィルム

【キャッチコピー】

ゼツ、ゼツ、ボウボウ、絶、望、ボウ

【解説】

常に時代と向き合いながら根元的なテーマに挑む問題作、衝撃作を世に送り続ける鬼才、若松孝二監督が、2000年に岡山県で起きた17歳の少年による母殺しの事件にインスパイアされ撮り上げた異色ドラマ。母親を殺した後、ひたすら北へと自転車を走らせる少年の姿に密着、少年が何を見、何を感じていたのかを探るように描いていく。主演は「美しい夏キリシマ」の柄本佑。

北へ向かって自転車をこぎ出した一人の少年。若者たちが群れる渋谷の繁華街を抜け、なおも北へ進んでいく少年。新聞には彼や彼と同世代が起こした事件が報じられ、ラーメンを食べながら母親を殺した少年について語り合う高校生たちがいる。三国峠から六日町、柏崎から象潟、男鹿半島へと北上していく少年。やがて彼は、海辺の青海川駅の待合室で一人の老人と出会う。老人の語る戦争体験に、少年はじっと耳を傾ける。その後少年は、戦時中に強制連行されてきた在日朝鮮人だという老婆に出会い雪深い里山の家を迎え入れられる。

【クレジット】

監督	若松孝二
プロデューサー	志摩敏樹
ラインプロデューサー	大日方教史
脚本	山田孝之 出口出 志摩敏樹
撮影	辻智彦
編集	板部浩章
音楽	友川かずき
照明	大久保礼司
録音	川嶋一義
助監督	白石和彌
出演	柄本佑 少年 針生一郎 老人 関えつ子 老婆 小林かおり 井端珠里 不破万作 田中要次 鳥山昌克

丸山厚人